

**向こう 1 か月の気温は高くなる予報です！**

**(5/19、気象庁発表)**

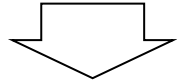
**水管理で土壌の異常還元(ワキ)対策を行おう！**

<本田初期 ～水管理のポイント～>

## 1 本田初期の基本的な水管理

活着期：水深4～5cm

風や低温から稲体を保護！  
新根の発生を促し、活着を促進します。



活着後：水深2～3cm

浅水管理・日中止水で、できるだけ水温・地温を高めましょう！  
分けつの発生を促します。  
水温を下げないため、入水は夜間もしくは早朝におこないます。  
※ただし、低温強風時は水深4～5cmにして稲体を保護。

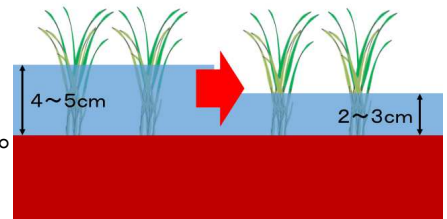


図1 移植後の水管理のイメージ

## 2 除草剤使用時の水管理

除草剤使用時：剤型に応じた水深

1 キロ粒剤・フロアブル剤：3～5cm

ジャンボ剤：5～6cm

使用後7日間：「止水管理」

使用後7日間は落水・かけ流しを行いません。

特に使用後3～4日間は湛水を保ち、田面が露出しないようにします。  
急な降雨で田面水があふれないよう、水尻・水路の点検補修を行っておきましょう。

除草剤の使用時期について

好天が続くと雑草の発生・生長が早まる可能性があります。

遅れないよう「適期使用」を行いましょう。

また、極端な高温または低温となった場合は使用を延期します。

やまがたアグリネットが新しくなりました！

やまがたアグリネットでは、お使いのPCやスマートフォンから  
作物別・地域別の最新情報をご覧になれます。会員登録無料！



### 3 土壌の異常還元(ワキ)対策

例年、6月上中旬頃に稲の葉色が淡く(黄色く)なるほ場がみられます。主な原因は、高温による土壌の異常還元(ワキ)により根傷みが発生し、水分や養分を十分に吸えなくなるためです。下記のポイントを参考に、ワキの程度に応じた対策を行い、根傷みを未然に防止しましょう。

#### ワキ対策のポイント

##### ①ワキの程度に応じた水管理

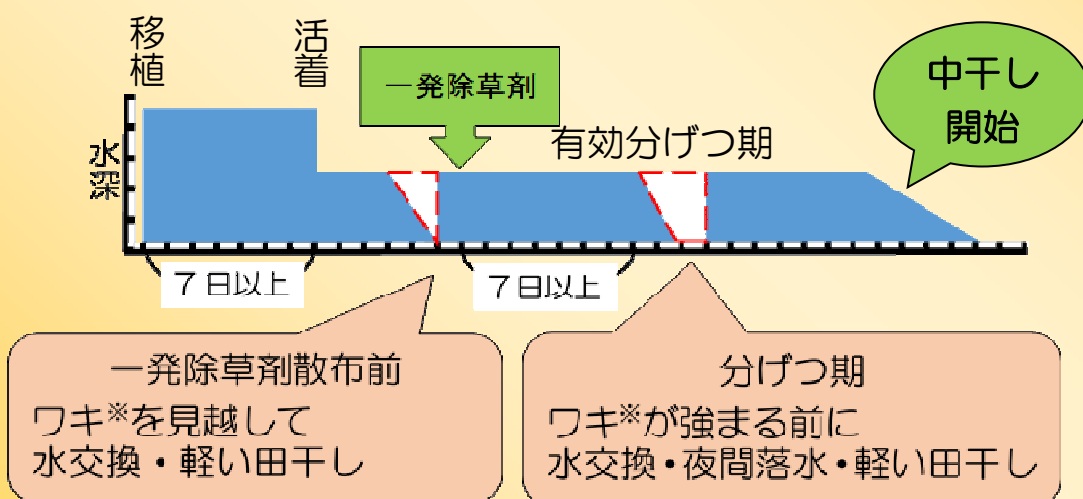
ワキの悪影響を回避するためには、稲に異常が見え始める前の「早めの対策」が重要です。

気泡の発生状況や気温予報を考慮して、ワキの発生程度に応じ水交換、夜間落水、田干しを行いましょう。

##### ②一発除草剤散布前の水交換

一発除草剤散布後の止水期間にワキが強まることを見越し、あらかじめ水交換や軽い田干しを行います。

移植から中干までの水管理のイメージ図



### <葉いもち発生防止対策と防除>

水田内の取り置き苗は、葉いもちの重大な感染源となります。不要になった取り置き苗はすみやかに処分しましょう。

山形県農作業事故防止啓発運動実施中！  
春季運動強化期間 4月10日～6月10日